

令和2年度 事業報告書（概要）

総務省が昨年9月に発表したところによると、人口の高齢化は出生率の低下と相まってますます加速化しており、65歳以上の高齢者人口は3,617万人で全人口に占める割合が28.7%と過去最高となる超高齢社会を迎えております。

「高齢者の世紀」と称されることもある21世紀において、豊かで活気のある長寿社会を築いていくためには、高齢者が地域社会において積極的に役割を果たしながら生きがいを持って生活をしていくことが必要です。そのためには、積極的に地域活動に参画し、培ってきた経験や知恵を活かした取り組みを進めるなど、私たち老人クラブの役割がとても重要なものになっています。

このような中で、大老連では「老人クラブの元気は地域の元気」の信念のもとに、全老連が提唱する老人クラブ21世紀プランに沿って、「健康・友愛・奉仕」の実現をめざして、さまざまな活動を展開してきました。

しかしながら、年度当初から新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が発出され、外出自粛が続く中、3密を避けるなどの感染防止対策を取りながらの事業運営となり、この事態が1年経った現在もまだ続いており、その影響は甚大なものとなっています。感染防止対策を念頭に置いた結果、やむなく延期・中止せざるを得なかった事業、参加人員を絞って実施した事業などが多くあり、普段通りの活動ができず老人クラブの運営に多大の支障をきたす事態となりました。

実施できた事業では、まず、健康づくりとして、グラウンド・ゴルフ大会を秋まで延期して実施するとともに、区老連活動を支援するため「高齢者の健康ウォーキング事業」への助成事業を継続実施するなどの取組みを積極的に進めてきました。

また、ねたきり高齢者の友愛訪問や百歳長寿者のお祝い訪問、友愛募金運動の推進などの友愛活動、そして全国一斉「社会奉仕の日」や環境美化・リサイクル活動の取組み、あるいは子ども見守り活動などの奉仕活動を精力的に実施してきました。

さらに近年、様々な手口の特殊詐欺が多発し、特に高齢者の被害が増え続けているため、大阪府警察、大阪市消費者センター等と連携し、高齢消費者被害防止に取り組んできました。

そのような中で、今後、老人クラブの発展をめざすには、その活動を担う指導者の養成が今一番大切であり、各区老連会長を対象とした役員研修会をはじめ、今年12回目を迎える「健康づくり推進リーダー養成講座」は内容の充実を図り継続実施し、各区老連への出前講座としての「リーダー養成講座」も引き続き実施するなど、幅広い人材育成、リーダー養成に努めてきたところです。

一方で、大阪市との共催事業である大阪市高齢者福祉大会、全国老人クラブ大会、近畿ブロック老人クラブリーダー研修会、大阪市老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会、各区女性部長研修、女性部リーダー研修、大老連カラオケ大会、さらには、全国老人クラブ連合会が実施する研修や諸会議、近畿老人クラブ連絡協議会の定例会、行政関係の各種委員会など数多くの事業が中止のやむなきに至り、極めて活動が縮小された1年となりました。

このことは、個々の会員にとっては運動や社会参加の不足によるフレイルを招きかねないものとなり、老人クラブにとっては活動による新規会員の勧誘促進ができず会員の減少に歯止めがかからないという二重の危機的状況を呈することとなっています。一日も早くコロナ禍を抜け出て、日常の活動に復せる時が来ることを期待するところです。

大老連としては、地域の高齢者を代表する組織として、高齢者が活力を持って明るく豊かな長寿社会となるよう人生の充実と長寿を喜びあえる地域社会づくりに取り組んできたところですし、これからも取り組んでまいります。

<主な事業のあらまし>

1. 心とからだの健康作り

- 健康づくり推進リーダー養成講座
令和2年10月1日(第1回)から令和3年3月25日(第8回)
まで計8回 修了者 22名
- 高齢者の健康ウォーキング事業
地域高齢者の健康づくりに資するとともに、老人クラブに対する理解を広げ、仲間づくりにつなげることをめざし、此花区、大正区、旭区、鶴見区、住吉区の5区老連の協力を得て取り組んだ
- 第15回大阪市老人クラブ連合会「グラウンド・ゴルフ大会」の開催
令和2年11月5日 大阪城公園太陽の広場 参加者126名
- 各区老連における健康づくり活動
グラウンドゴルフ・ゲートボール・ペタンク大会等の開催、健康体操や歩こう会・ハイキング等の実施、各区医師会等の協力による介護予防、保健栄養改善など健康管理の相談会や講習会の開催など

2. 高齢者が相互に支援する友愛・ボランティア活動

- ねたきり高齢者の友愛訪問(152名)と百歳長寿のお祝い訪問(100名)
- 友愛募金活動 各区計 1,255,581円

- ・転入者をあたたかく迎える運動、高齢消費者被害防止の取組みなど

3. 環境への取組み

- ・全国一斉「社会奉仕の日」及び環境美化・リサイクル活動の取組み
9月20日の全国一斉「社会奉仕の日」を中心に470単位クラブ、6767名が活動に参加し、地域の環境美化の担い手としての活力を示した

4. はつらつとしたクラブづくりなど

- ・優良クラブ、永年勤続会長表彰
高齢者福祉大会の中止に伴い、同大会で実施していた表彰を大阪市役所において代表者に対して実施
- ・大老連供養塔法要
9月23日、高野山奥の院「大老連供養塔」において、役員等関係者（19名）のみで実施
- ・高齢者の主張発表
大老連だより9月号を特別号として増ページ発行し、10区老連の方々の主張発表の全文を紙面掲載
- ・大老連役員研修会
11月2日、日本福祉大学の中川晴夫さんを講師に招き、「老人クラブ活動の活性化とリーダーの役割」の講義などを実施
- ・リーダー養成講座（出前講座）
幅広い人材育成をめざしたリーダー養成の一環として、健康・介護・友愛・悪質商法、防災などさまざまな分野のテーマでの出前講座を北区・中央区・淀川区・生野区・城東区・西成区の6区老連の協力を得て取り組んだ。
- ・シルバー教養講座の開催
加入促進事業の一環として一般高齢者も参加対象のシルバー教養講座を「クラフト体験」「高齢者のヘルスケア」「外出自粛に伴うフレイルの予防」をテーマに開催
- ・広報活動、他団体・組織との連携協力など